



内外情勢の回顧と展望

令和3年(2021年)1月

公安調査庁

Public Security Intelligence Agency

●表紙で使用している写真について



- ① (写真提供：EPA=時事)
- ② (写真提供：中国通信/時事通信フォト)
- ③ (写真提供：EPA=時事)
- ④ (写真提供：朝鮮通信=共同)
- ⑤ (写真提供：AFP/アフロ)

内外情勢の回顧と展望(令和3年版)の発刊に当たって

公安調査庁長官 和田 雅樹

今日、我が国を取り巻く内外の情勢は、日々めまぐるしく変化しており、特に、新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大が既存の社会構造や国際秩序の不安定化を引き起こし、我が国の安全保障環境にも少なからず影響を与えています。また、経済分野を含む様々な領域における米中の対立が激しさを増す中、我が国においても、経済安全保障の観点から技術流出等に対する懸念が高まっています。こうした変化が生み出す新たな社会不安や脅威に対し、その予兆の把握を始め、迅速かつ適切に対応していくことが一層求められています。

公安調査庁は、公共の安全の確保を任務としており、破壊活動防止法や無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律に基づき、いわゆるオウム真理教に対する観察処分を適正かつ厳格に実施しているほか、我が国の情報コミュニティのコアメンバーとして、国際テロ、我が国周辺情勢、経済安全保障に関する情勢、国内諸団体の動向など、我が国の公共の安全に影響を及ぼし得る国内外の諸動向について情報を収集・分析し、これを政府関係機関に適時・適切に提供することで、政府の各種施策に貢献しております。

令和2年(2020年)における内外の諸情勢を見ますと、国外では、北朝鮮が依然として非核化に応じず、新型弾道ミサイルを公開して開発の進展を誇示したほか、世界各地で国際テロ事案が依然として続発するなど、我が国の安全保障にとって深刻かつ重大な脅威が認められます。また、中国は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をめぐり、米国との関係が一層緊迫化する中、「多国間主義」を標ぼうしつつ、自国に有利な外交環境の確保を図っており、我が国の外交・安全保障への影響が注目されます。ロシアは、プーチン政権の長期化を可能とする憲法改正を実施し、対外的には国際・地域問題への介入を継続して大国としての存在感を誇示する中、我が国との間では、北方領土を“自国領”とする姿勢を崩していません。一方、国内では、いわゆるオウム真理教が地下鉄サリン事件から25年が経過してもなお危険な体質を堅持しつつ、観察処分への抵抗を強めているほか、過激派が多様な活動を通じて組織拡大をもくろむなど、警戒すべき動向が認められます。さらには、各国がサイバー戦能力の強化を図る中、国内外で防衛産業等を狙ったサイバー攻撃が相次いで発覚するなど、我が国を取り巻く内外の情勢は、依然として厳しいと言わざるを得ません。

また、令和3年(2021年)3月には、第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議(京都 kongress)が、そして、7月から9月にかけて東京オリンピック・パラリンピック競技大会が、それぞれ開催される予定です。公安調査庁は、世界中の注目を集めるこれらのイベントの安全開催に貢献するべく、テロの未然防止や不審動向の早期把握に向けて、情報収集・分析態勢の更なる強化に努めて参ります。

近年、官民協力の重要性が一段と高まっており、公安調査庁では、今後とも国民の皆様への情報発信に一層努める所存です。本資料は、公安調査庁がこのような情報発信の一環として、前年の公共の安全に関わる我が国内外の諸動向を取りまとめ、毎年1月に発刊しているものです。皆様におかれましては、本資料を御活用いただきますとともに、公安調査庁の業務について御理解及び御支援を賜りますよう、この場を借りて心からお願い申し上げます。

内外情勢の回顧と展望（令和3年版）の発刊に当たって	1
特集1 新型コロナウイルス感染症が世界各国に拡大	6
1 感染拡大の中、分断が進む国際社会	6
2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における国内諸動向	8
COLUMN コロナ禍の中、人種差別に反対する抗議行動に過激派が連帯を主張	9
特集2 経済安全保障関連動向	10
1 激しさを増す米中対立の中で鮮明化する経済安全保障の動き	10
2 経済安全保障分野における公安調査庁の取組	13
特集3 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の安全開催に向けて	14

【国外情勢】

1

北朝鮮・朝鮮総聯

1-1 新型コロナウイルス感染症や風水害で更なる苦境に直面し、体制の安定維持に腐心する北朝鮮	17
COLUMN① 金正恩委員長の健康問題	18
COLUMN② コロナ禍における中朝貿易	19
1-2 米国の交渉姿勢に不満を示し、対北姿勢の転換を求める北朝鮮	20
COLUMN 閱兵式に登場した新型弾道ミサイル	21
1-3 韓国の「対米追従」姿勢の転換を求めて圧迫を続ける北朝鮮	22
COLUMN 6月の対韓圧迫を主導した金与正党第1副部長	24
1-4 日朝間の対話に依然として応じない北朝鮮	24
1-5 コロナ禍の下、組織・活動の強化に腐心する朝鮮総聯	26
COLUMN 復活した朝鮮総聯「第1副議長」職	27



(写真提供：EPA＝時事)

2 中国

2-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を「建国以来の重大事件」と捉え、安定維持に腐心した習近平政権 28

COLUMN 経済政策などをめぐり、指導部内の不協和音が出たか 30

2-2 香港国家安全維持法が制定、分岐点を迎えた香港の「高度な自治」 31

COLUMN 相次ぐ中国企業の香港株式市場上場、高まる中国の存在感 33



(写真提供：EPA＝時事)

2-3 国際社会とのあつれきが深まる中、自国に有利な外交環境の確保に取り組む中国 34

COLUMN 巧妙化・過激化するSNSを利用した中国の対外発信 37

2-4 我が国新政権との関係構築を目指し、安定した日中関係の維持を図る中国 37

2-5 台湾が国際社会との関係深化を図る中、圧力を強化する中国 39

3 ロシア

3-1 ロシア連邦憲法の改正により、2036年までプーチン大統領の続投が可能に 41

COLUMN ① 非合法情報機関員(イリーガル)を称揚するロシア対外諜報庁 43

COLUMN ② ベラルーシに対する影響力を強めるロシア 43

3-2 平和条約交渉は継続も、ロシアは北方領土問題で揺さぶり 44

COLUMN 「第二次世界大戦終結の日」をめぐり北方領土における動き 45



(写真提供：EPA＝時事)

4 国際テロ

4-1 継続する国際テロの脅威 46

COLUMN ① 預言者ムハンマドの風刺画関連のテロ事件に直面するフランス 46

COLUMN ② 欧米諸国が懸念する極右主義者をめぐる動向 47

4-2	依然として影響力を維持する「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL) ……	48
4-3	世界各地でテロを続ける「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL) 関連組織 ……	50
	COLUMN 治安の悪化が進むサヘル地域 ……	52
4-4	宣伝活動を継続する「アルカイダ」と 各地でテロを続ける 「アルカイダ」関連組織 ……	53
	COLUMN 和平交渉を進めつつも、 テロ組織との関係が 不透明な「タリバン」 ……	55

5 サイバー空間をめぐる動向

5	国家安全保障への脅威が拡大する サイバー攻撃 ……	56
	COLUMN APT集団とアトリビューション ……	59



(写真提供：アフロ)

6 大量破壊兵器関連物資等をめぐる動向

6	軍事転用可能物資・技術等の 獲得を狙った活動 ……	60
---	------------------------------	----



(写真提供：EPA＝時事)

【国内情勢】

1 オウム真理教

1-1	地下鉄サリン事件から25年が経過するも、 危険な体質を堅持するオウム真理教 ……	63
	COLUMN ① 地下鉄サリン事件から25年後のオウム真理教 ～現在進行形のオウム真理教問題～ ……	65
	COLUMN ② 繰り返される立入検査忌避事案 ……	66

1-2	“麻原絶対”を明示して 活動する主流派	68
-----	------------------------	----

1-3	“麻原隠し”を継続しつつも 麻原の影響下にあることに 変化のない上祐派	69
-----	---	----

COLUMN	「仮装工作」と断じられた “麻原隠し”	70
--------	------------------------	----



2 過激派

2	政府の新型コロナウイルス 感染症対策などに対する批判を 通じて組織の維持・拡大に 取り組んだ過激派	71
---	--	----

COLUMN	ハイジャック事件から50年を迎えた「よど号」グループをめぐる動向	73
--------	----------------------------------	----



3 共産党

3	コロナ禍での政策提言などを 通じて存在感のアピールに 努めた共産党	74
---	---	----



(写真提供：時事)

4 右翼団体など

4	新型コロナウイルス感染症問題や 近隣諸国との諸問題を捉えて 活動した右翼団体など	75
---	--	----

COLUMN	緊急事態宣言中及び 解除後の右翼団体の取組	76
--------	--------------------------	----



巻末資料 (1~11月国内外の主要公安動向)	77
公安調査庁WEBサイトのご案内	84

※ この「内外情勢の回顧と展望」(令和3年版)は、令和2年(2020年)における内外公安動向を回顧し(11月現在)、今後を展望したものです。なお、本文中、特に断りのない限り「○月」との表記は、原則として令和2年(2020年)の当該月を指し、本文に記載した人物の肩書は当時のものとしています。

※ は参照箇所を示しています。